

博報堂生活総合研究所

「こども20年変化」調査結果 続報 を発表

- ・家族旅行で行きたいのは「海外より国内」… 60.0%
- ・一番欲しいものは「自分専用のスマートフォン」… 44.9%
- ・SNSを使うときは「気をつかう」… 53.4%

博報堂生活総合研究所は1997年から10年毎に、小学4年生から中学2年生の子どもたちを対象に、ほぼ同じ質問内容のアンケート調査を続けてきました(1997年・2007年・2017年の3時点で実施)。

今回のレポートでは、前回発表(2017.6.8)に続き調査結果の続報をご報告いたします。

【調査概要】 ◆調査手法：訪問留置自記入法 ◆調査対象：小学4年生～中学2年生の男女 ◆調査時期：2017年2月15日～3月21日
◆調査地域：首都40Km圏 ◆調査人数：首都圏800人 ◆1997年・2007年の調査概要はP.4参照

1997年 → 2017年：「こども20年変化」ポイント(続報)

旅行・海外意識

家族旅行で行きたいのは、海外より国内

家族旅行で行きたい場所：日本

97年 41.3% → 17年 **60.0%** (+18.7pt) ※過去最高

家族旅行で行きたい場所：外国

97年 44.2% → 17年 **30.5%** (▲13.7pt) ※過去最低

海外への関心は低下

日本のことを考えるべき

97年 37.3% → 17年 **54.0%** (+16.7pt) ※過去最高

世界全体のことを考えるべき

97年 61.8% → 17年 **45.9%** (▲15.9pt) ※過去最低

海外留学をしたいとは思わない(2017年のみ)

17年 **76.0%**

海外で仕事をしたいとは思わない(2017年のみ)

17年 **87.6%**

メディア意識

一番欲しいものは、自分専用のスマートフォン

自分が新しく買いたいもの(2017年のみ)

17年 自分専用のスマートフォン **44.9%**、自分専用のテレビ **28.9%**、自分専用のパソコン **26.3%** の順

テレビの信頼度が上昇、ネットは低下

インターネットの話は本当のことが多い(2007年から)

07年 40.8% → 17年 **29.0%** (▲11.8pt) ※過去最低

テレビの話は本当のことが多い

97年 47.9% → 17年 **71.3%** (+23.4pt) ※過去最高

SNSとは慎重につきあう

SNSで知り合った人に会うのはこわいと思う(2017年のみ)

17年 **62.5%**

SNSを使うときは気をつかう(2017年のみ)

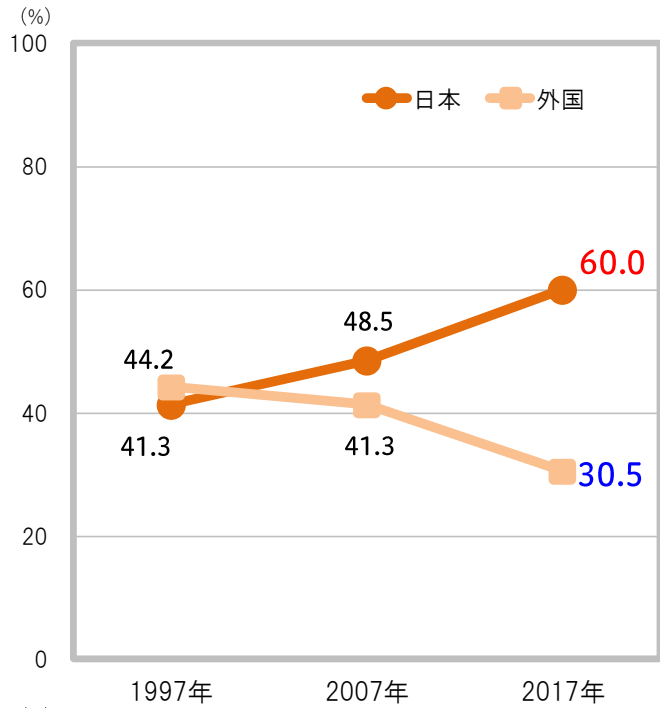
17年 **53.4%**

旅行・海外意識

家族旅行で行きたいのは、海外より国内

子どもたちに「家族で旅行に行くなら、日本と外国とどちらに行きたいか」を二者択一で質問したところ、「日本」が60.0%、「外国」が30.5%となりました。

「日本」は今回が過去最高、「外国」は過去最低の結果です。1997年から2007年にかけて両者は逆転しており、今回その差がさらに広がりました。

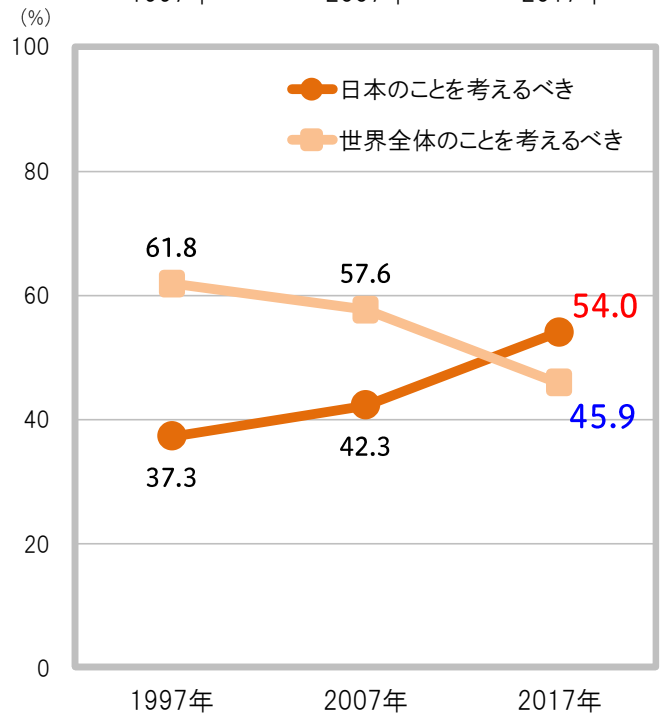


海外への関心は低下

子どもたちに、世界全体と日本のどちらを第一に考えるべきと思うか聞いたところ、「日本のことを考えるべき」が54.0%、「外国のことを考えるべき」が45.9%となりました。

「日本のことを考えるべき」は今回が過去最高、「外国のことを考えるべき」は過去最低となっており、初めて逆転する結果となりました。

また「将来、海外留学をしたいか」という質問には「いいえ」が76.0%、「将来、海外で仕事をしたいか」という質問には「いいえ」が87.6%となり、全体的に海外に対する関心の低下がうかがえます。



※2017年 (%)



※2017年 (%)

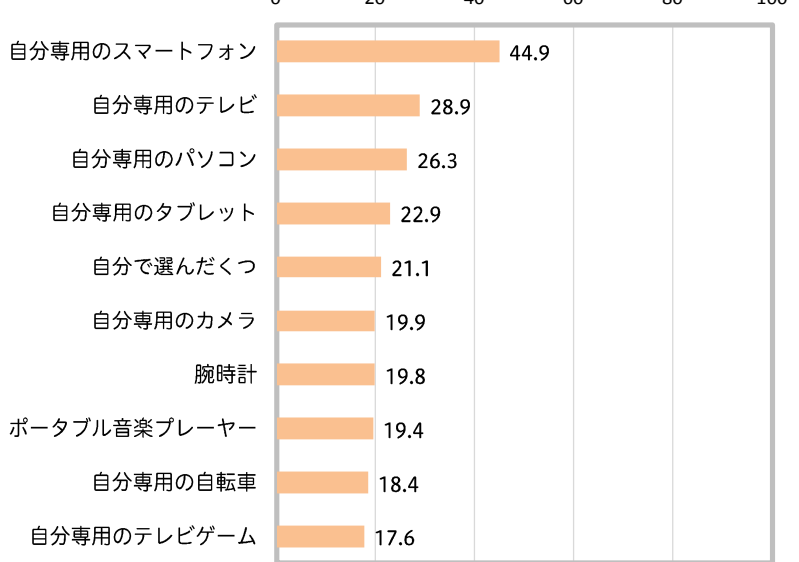


一番欲しいものは、

自分専用のスマートフォン

子どもたちに「新しく買いたいもの」を聞いたところ、「自分専用のスマートフォン」が最も多く44.9%、次に「自分専用のテレビ」28.9%、「自分専用のパソコン」26.3%などの結果となりました。

※2017年 上位10項目



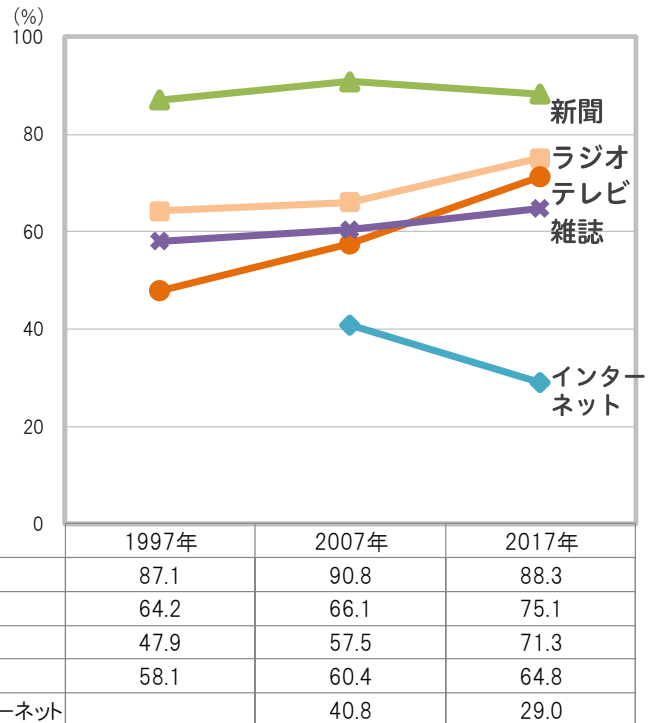
テレビの信頼度が上昇、

ネットは低下

子どもたちにメディアの信頼性について聞いたところ、「テレビの話は本当のことが多い」が71.3%、「インターネットの話は本当のことが多い」が29.0%などの結果となりました。

「テレビ」は今回が過去最高なのに対して、「インターネット」は過去最低となり、その差をさらに広げる結果となりました。

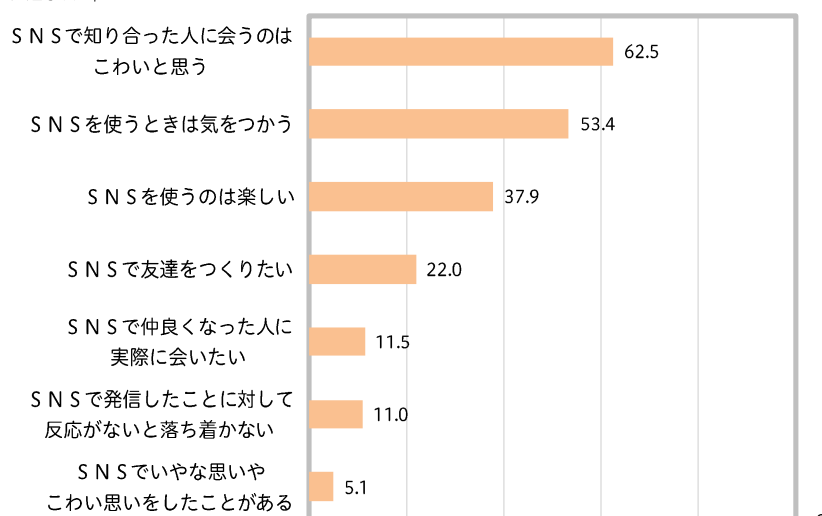
※インターネットは2007年から聴取



SNSとは慎重につきあう

子どもたちに、SNSの印象について聞いたところ、「SNSで知り合った人に会うのは怖いと思う」という設問に対して「はい」が62.5%、「SNSを使うときは気をつかう」という設問に対しては「はい」が53.4%などの結果となりました。

※2017年



■ 2017年 子どもの生活に関する調査

- ・調査期間：2017年2月15日～3月21日
- ・調査対象：2017年3月31日時点で小学4年生～
中学2年生に在学する男女
- ・調査人数：800人

	男性	女性	合計
小学4年生	80	80	160
小学5年生	80	80	160
小学6年生	80	80	160
中学1年生	80	80	160
中学2年生	80	80	160
合計	400	400	800

■ 2007年 子どもの生活に関する調査

- ・調査期間：2007年6月18日～7月9日
- ・調査対象：2007年7月1日時点で小学5年生～
中学3年生に在学する男女
- ・調査人数：800人

	男性	女性	合計
小学5年生	80	80	160
小学6年生	80	80	160
中学1年生	80	80	160
中学2年生	80	80	160
中学3年生	80	80	160
合計	400	400	800

■ 1997年 子どもの生活に関する調査

- ・調査期間：1997年3月7日～3月31日
- ・調査対象：1997年3月31日時点で小学4年生～
中学2年生に在学する男女
- ・調査人数：1,500人

	男性	女性	合計
小学4年生	150	150	300
小学5年生	150	150	300
小学6年生	150	150	300
中学1年生	150	150	300
中学2年生	150	150	300
合計	750	750	1500

※いずれも、

- ・調査地域：首都40Km圏
- ・調査手法：訪問留置自記入法
- ・企画分析：博報堂生活総合研究所
- ・実施集計：株式会社東京サーベイ・リサーチ